PATENT COOPERATION TREATY

PCT

INTERNATIONAL PRELIMINARY REPORT ON PATENTABILITY (Chapter I of the Patent Cooperation Treaty)

(PCT Rule 44bis)

Applicant's or agent's file reference 59P0451WO	FOR FURTHER ACTION	See item 4 below	
International application No. PCT/JP2005/015578	International filing date (day/month/year) 26 August 2005 (26.08.2005)	Priority date (day/month/year) 30 August 2004 (30.08.2004)	
International Patent Classification (8th See relevant information in Form P	edition unless older edition indicated) CT/ISA/237		
Applicant PIONEER CORPORATION			

1.	This international preliminary report on patentability (Chapter I) is issued by the International Bureau on behalf of the International Searching Authority under Rule 44 bis.1(a).			
2.	This REPORT consists of a total of 4 sheets, including this cover sheet.			
	In the attached sheets, any reference to the written opinion of the International Searching Authority should be read as a reference to the international preliminary report on patentability (Chapter I) instead.			
3.	This report contains indications	relating to the following items:		
	Box No. I	Basis of the report		
	Box No. II	Priority		
	Box No. III	Non-establishment of opinion with regard to novelty, inventive step and industrial applicability		
	Box No. IV	Lack of unity of invention		
	Box No. V	Reasoned statement under Article 35(2) with regard to novelty, inventive step or industrial applicability; citations and explanations supporting such statement		
	Box No. VI	Certain documents cited		
	Box No. VII	Certain defects in the international application		
ļ	Box No. VIII	Certain observations on the international application		
4.	4. The International Bureau will communicate this report to designated Offices in accordance with Rules 44bis.3(c) and 93bis.1 but not, except where the applicant makes an express request under Article 23(2), before the expiration of 30 months from the priority date (Rule 44bis.2).			
		·		
		Date of issuance of this report 28 February 2007 (28.02.2007)		

Authorized officer

e-mail: pt08.pct@wipo.int

Masashi Honda

Facsimile No. +41 22 338 82 70 Form PCT/IB/373 (January 2004)

The International Bureau of WIPO 34, chemin des Colombettes 1211 Geneva 20, Switzerland

特許協力条約

REC'D 15 DEC 2005 PCT WIPO

発信人 日本国特許庁 (国際調査機関)

代理人	,			
江上 達夫	1			
	様			
あて名 〒104-0031 東京都中央区京橋一丁目16番10号 オークビル京橋4階		PCT 国際調査機関の見解書 (法施行規則第 40 条の 2) (PCT規則 43 の 2.1]		
東京セントラル特許事務所内		発送日 (日.月.年)	13. 12. 2005	
出願人又は代理人 の書類記号 59P0451W0		今後の手続	売きについては、下記2を参照すること。	
国際出願番号 PCT/JP2005/015578	国際出願日 (日.月.年) 26.0	8. 2005	優先日 (日.月.年) 30.08.2004	
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. <i>G11B7/0045</i> (2006.01)				
出願人(氏名又は名称)	パイオニア株式	会社		

 			
V	第I欄	見解の基礎	
	第Ⅱ欄	優先権	
	第Ⅲ櫚	新規性、進歩性又は産業上の利用可能性につい	ての見解の不作成
	第IV概	発明の単一性の欠如	
	Anto as = 1000	1991 の のの 1/) /:) に担会する新規件	海歩性マけ 産業 上の利用可能性に

ついての見解、 ☑ 第V欄 PCT規則 43 の 2.1(a)(i)に規定する新規性、進歩性又は産業 それを裏付けるための文献及び説明

□ 第VI欄 ある種の引用文献 □ 第VII欄 国際出願の不備

この見解事は次の内容を含む。

第VII欄 国際出願に対する意見

2. 今後の手続き

国際予備審査の請求がされた場合は、出願人がこの国際調査機関とは異なる国際予備審査機関を選択し、かつ、その国 際予備審査機関がPCT規則 66.1 の 2(b)の規定に基づいて国際調査機関の見解書を国際予備審査機関の見解書とみな さない旨を国際事務局に通知していた場合を除いて、この見解書は国際予備審査機関の最初の見解書とみなされる。

この見解書が上記のように国際予備審査機関の見解者とみなされる場合、様式PCT/ISA/220を送付した日か ら3月又は優先日から22月のうちいずれか遅く満了する期限が経過するまでに、出願人は国際予備審査機関に、適当 な場合は補正沓とともに、答弁書を提出することができる。

さらなる選択肢は、様式PCT/ISA/220を参照すること。

3. さらなる詳細は、様式PCT/ISA/220の備考を参照すること。

見解むを作成した日	06.12	. 2005		
名称及びあて先		特許庁審査官(権限のある職員)	5 D	9368
日本国特許庁 (ISA/JP) 郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4番3号		五贯 昭一 電話番号 03-3581-1101 内部	線 35	5 1

第 Ⅰ 欄 見解の基礎					
第1個 見辞の基礎 1. 言語に関し、この見解書は以下のものに基づき作成した。					
	2. この国際出願で開示されかつ請求の範囲に係る発明に不可欠なヌクレオチド又はアミノ酸配列に関して、 以下に基づき見解書を作成した。				
a. タイプ		配列表			
		配列表に関連するテーブル			
b. フォーマット		紙形式			
		電子形式			
c. 提出時期	c. 提出時期				
	この国際出願と共に電子形式により提出されたもの				
	出願後に、調査のために、この国際調査機関に提出されたもの				
た配列が出願あった。	3. 「 さらに、配列表又は配列表に関連するテーブルを提出した場合に、出願後に提出した配列若しくは追加して提出した配列が出願時に提出した配列と同一である旨、又は、出願時の開示を超える事項を含まない旨の陳述書の提出があった。				
4. 補足意見:					
·					
		·			
		•			

国際調査機関の見解書

国際出願番号 PCT/JP2005/015578

	•	
請求の範囲	1-13	有 無
請求の範囲 請求の範囲	1-13	有 無
生(IA) 請求の範囲 請求の範囲	1-13	
	請求の範囲 請求の範囲 請求の範囲 生(IA) 請求の範囲	請求の範囲 1-13 請求の範囲 1-13

2. 文献及び説明

文献1:JP 2002-237050 A (パイオニア株式会社)

2002.08.23

全文, 図1-6

文献2: JP 2004-519810 A

(コーニンクレッカ フィリップス エレクトロニクス エヌ ヴィ)

2004.07.02

全文, 図1-4

請求の範囲1-13に係る発明は、国際調査報告に引用されたいずれの文献にも 記載されておらず、当業者にとって自明なものでもない。